凍結災害について

~平成28年1月24日発生の『凍結災害』は なぜ被害が拡大したのか~

> 米子市水道局 給水維持課 課 長 松 田 明 久



I ご紹介 『鳥取県米子市とは・・・』

(1)特徵



(2)自然豊かなロケーション

東に中国地方最高峰の 国立公園大山(標高 1,709m)を仰ぎ、北は日 本海に寄り添う。



米子水鳥公園のコハクチョウ



西はコハクチョウが飛来する 水鳥公園など、ラムサール条 約に登録された中海がある。

国立公園大山と日本海と皆生温泉

Ⅱ 米子市の水道は・・・

(1) 創設

〇大正13年6月 当時の米子町が国の認可を受ける

〇大正15年4月 一般給水を開始

(2) 給水区域・給水人口・一日平均給水量

○給水区域:米子市・境港市・日吉津村の二市一村

〇給水人口:約186,000人(約75,000戸)

〇一日平均給水量:約63,200㎡

(3)良質な水質

- 〇秀峰大山や大山山麓の雪融け水が地下に浸透
 - →地下水が原水(100%)・・・11水源・27取水井戸から汲み上げたおいしい水道水
 - →中央部配水区(全配水区の80%)

南部配水区及び東部配水区(7か所)・・・お客様へ届けている

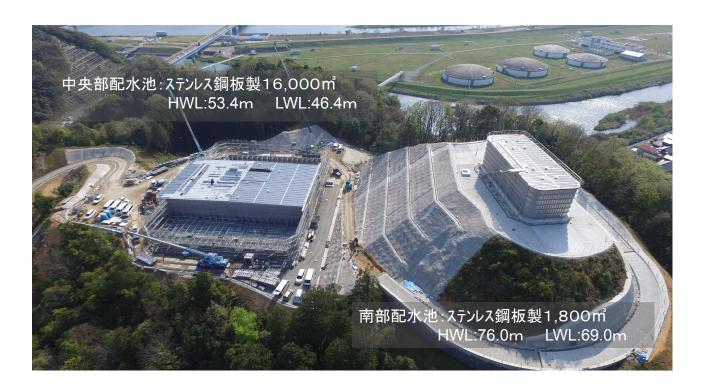
(4)鳥取西部地震(平成12年)を経験して

○震度6強の地震により管路被害が多発(道路破損/280件 DIP継手・ACP・VP・他)

→老朽管路の更新が急務と捉え取組んでいる

Ⅲ 配水池設置事業

『危機管理の強化・安定供給・地震に強い水道を目指して』



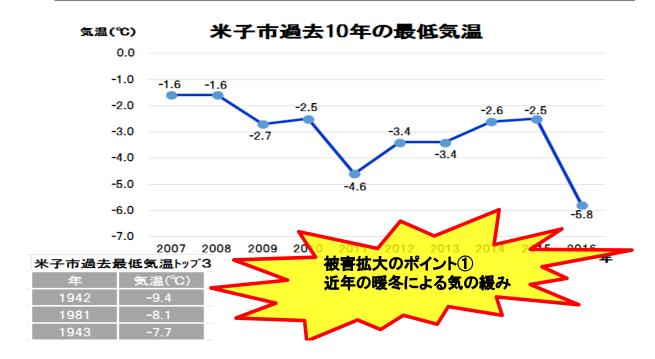
Ⅲ 配水池設置事業

『危機管理の強化・安定供給・地震に強い水道を目指して』



IV 平成28年1月24日発生『凍結災害』は なぜ被害が拡大したのか

(1)近年の気温



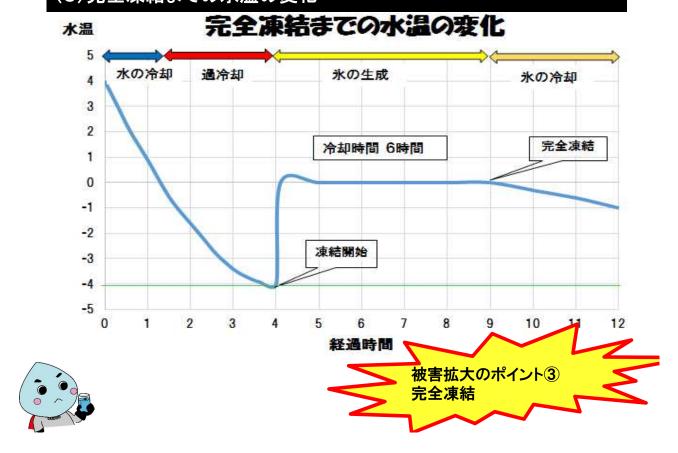
(2)凍結災害発生時の気温の変化





被害拡大のポイント② 氷点下4℃以下が14時間継続

(3)完全凍結までの水温の変化

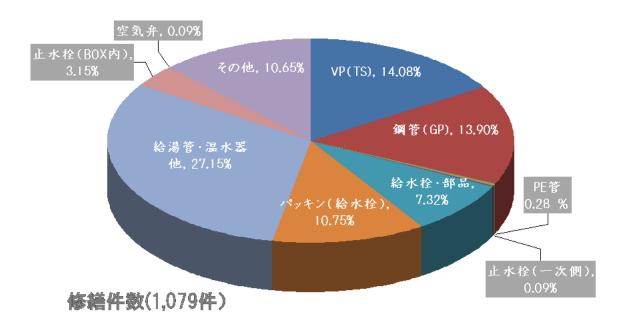


(4)発生からの受付

破損件数 / 受付件数=1,219 / 1,610



(5)修繕施工内訳



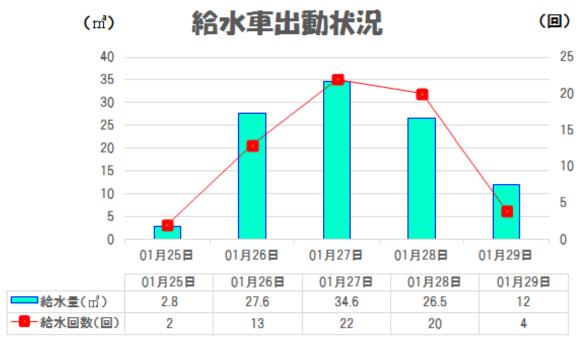


水道料金減額件数=2,647件 推定漏水量=171,326㎡

(6)流量と水圧



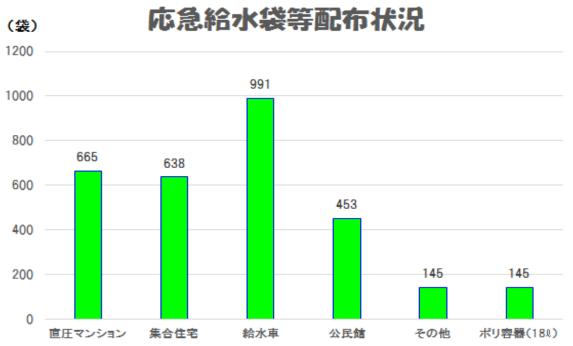
(7)応急給水 i





給水車出動台数 延べ 61台 給水量 103.5㎡

(8)応急給水 ii

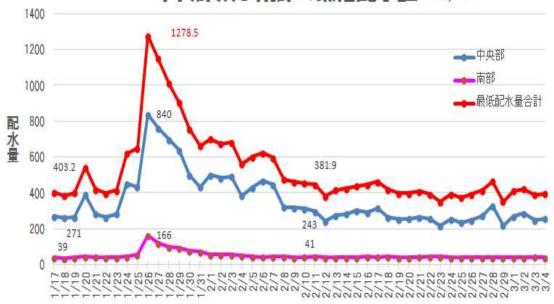




配布総数 2,892 袋

(9)漏水調査 i



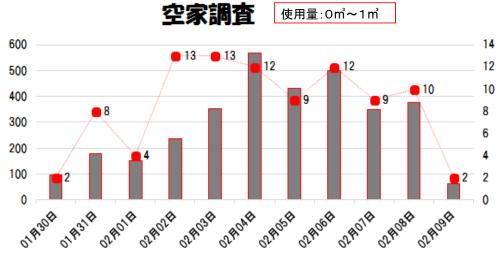




中央部戸数/南部戸数 = 約65,000/約4,100

(9)漏水調査 ii

使用量:0㎡~1㎡



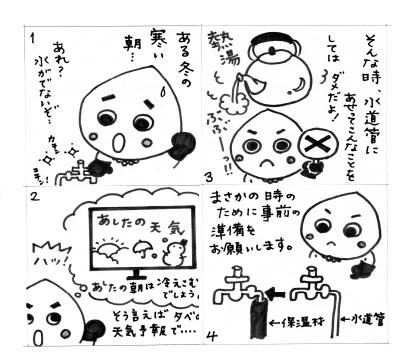
	01月30	01月31	02月01	02月02	02月03	02月04	02月05	02月06	02月07	02月08	02月09
	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
■■□点検件数	96	178	151	238	353	568	431	499	348	378	64
■漏水発見件数	2	8	4	13	13	12	9	12	9	10	2



(10)凍結防止の広報

i 給水区域内市報·村報

パッキン☆マン・





ii ローカルメディアの活用

日本海テレビ『ニュースevery日本海のCM』

日本水道協会鳥取県支部からの『水道管凍結防止のお知らせ』として・・・ 『気温が氷点下になると水道管が凍結することがあります。露出管などに は保温材を巻くなどの防寒対策をしましょう。凍結した場合は解けるのを待 つか、布をかぶせてぬるま湯でゆっくり溶かしましょう』

H28年1月15日~2月16日 毎週(火)(金) 17:53~19:00(15秒)

中海テレビ(ケーブルテレビ)・防災無線

氷点下 4° C の予報が出た場合、ケーブルテレビのテロップ並びに防災無線での広報





(11)凍結防止の追加広報の検討

- i米子市水道局独自にビラを作成し配布
- ii 各テレビ局CM

(12)伝えたい内容を明確に

i 保温材できっちり防護

保温材の材質 → ウレタンまたはポリエチレン(20mm厚)

屋外の蛇口 → 布を厚く巻く → ビニール袋をかぶせる

ii 不在の場合はメーターボックス内の止水栓を止めて水道管の中の水を抜く

外の散水栓等一番低いか所の蛇口から水を抜く

iiiおやすみ前に少量の水を流しておく



3mm~4mmの太さを目安に流す

→ 水量:約24ℓ/時間 約192ℓ/8時間

V・心構え

『 災害や事故から学ぶことが危機管理の鉄則 』 を念頭においた日頃の取り組みが重要である。

『天災は忘れた頃にやってくる』・『事故は繰り返し起こる』 などと言われるように、発生に備えたシミュレーションをし ておこう。





ご清聴ありがとうございました!